



区誌 いしずえ

第46号
2023年(令和5年)
12月

発行／～地域力つなぐ～枚二校区コミュニティ協議会 編集／コミュニティ協議会広報部



枚方ひらかた 面影さがし

vol.3

ふるさと巡行

ひとときわ大きい新町のふとん太鼓。老朽化が進んだため、安生3年(1856年)に新調された。現在の重量は約2トン(市駅北ロータリーの曲がり角で)

4年ぶり勇壮 枚方宿ふとん太鼓

五穀豊穡を祈願し、江戸時代の元禄頃(1700年)に成立したと伝わる東海道枚方宿のふとん太鼓巡行。ふとん太鼓は、枚方宿の四カ村(岡新町・岡・三矢・泥町)の氏神(岡新町・岡は日吉神社、三矢・泥町は須賀神社)へ各々、毎年10月15日の秋祭りに集団で参詣するものでありました。



10月8日(日)、町衆の心意気と熱気がコロナ禍を吹き払い、新町・岡本町・岡東・三矢の4町が4年ぶりそろって街道を練り歩きました。

「エーラ、エーラ、エラサッサ」：「坊さんタコ食うてへどついで」：ユニークな歌詞をうたいながら、勇壮な出で立ちの若い衆数十人が、5段重ねの紅白のふとんで飾った屋台を担い、子どもみこしが太鼓を叩き宿内を巡行します。



枚方宿界隈(江戸の頃)

村同士の争いも

巡行は道幅が狭い街道を通るため、昔は村と村の太鼓の担ぎ手同士でトラブルが発生しました。

数トンもあったとされる岡新町村のふとん太鼓が日吉神社に参詣する折り、岡村の町内を通らなくてはならず、岡村の人家に迷惑をかけることが度々生じました。

そこで岡村は、自村の通行禁止を岡新町村に求めることに。これに岡新町村は反発。岡村の村民に対し、両村の共同墓地への道を通行止めにする対抗措置を取りました。

争いには三矢と泥町が仲裁に入り、文化10年(1813年)解決に至りました。

(2面に続く)

意賀見神社に巡行・参詣

神社の合祀

明治の廃仏毀釈によって同42年(1909年)10月14日、日吉神社と須賀神社が意賀見神社に合祀されました。

当時の意賀見神社は別の場所に鎮座した古社であったが、境内が狭いため翌15日、万年寺山のもの須賀神社境内、現所在地に遷座。この日を境に、4力村は意賀見神社に巡行・参詣することになりました。

4町で参詣

同神社は都会の中にありながら、一歩足を踏み入れると、一帯が樹木に覆われ、ひんやりとします。万年寺山自体が古墳ということもあり、風情があります。淀川の鎮守として御神威高く、近くは「淀川を眺めるのならここ!」。かつて豊臣秀吉が愛した場所です。

10月8日早朝、4町は巡行に先立ち、本殿と2つの社殿からなる境内に入りました。



▲「昭和59年12月就任です」と雑談に応じられる正田宮司さん



本殿から下り、記念撮影に収まる4町の参詣者

自治会長と青年会会長はじめ17人が本殿に上がり、正田宮司さんより祝詞が唱えられました。おごそかな雰囲気につつまれ、一般参拝者が投げ入れるお賽銭の音が響きます。儀式を終え、岡本町青年会会長の羽田栄太さんは「本殿内は身の引き締まる思いです」

「地域の宝」を未来につなごう

「軒下」に注意

各町は地元であいさつに準備体操、祝杯を交わして威勢よく、9時過ぎに出発。

2トンもあるみこしは、民家の軒下や電線、看板等に当たらないよう屋台に上る者が注意を払い、みこし同士がかち合わないよう、先頭を行く者が離合の指示をします。

クライマックスは10時過ぎ。4町は市駅南ロータリーを練り歩いて高架下をくぐり、北ロータリーを周回。「わっしょい わっしょい!」と、みこしを上下に揺らすと歓声と拍手。

「宗佐の辻」を右に折れて五六市の出店も並ぶ商店街に入り、岡本町公園にそろろうと、ボルテージは最高潮に達します。

求む「担ぎ手」

しかし、各町共通の課題は「担ぎ手不足」。各町は学校や企業、公務員ほか地域を越えた若者たちにも協力を求め、数十人の担ぎ手を確保します。

岡東町の祭りには市内の高校から21人が参加。柔道部で活躍する杉野空哉さん(2年)は「肩入れ」「掛け声」で大いに盛り上がりました」と、若い力を前面に出していました。

◇ これから、さらに進む高齢化社会への道。8月の「枚方まつり」にも参加する枚方宿の伝統ある歴史文化遺産。地域の宝を後世に残すことは、現代のわれわれの役目になっていきます。



4町のそりい踏み(岡本町公園で)

信頼に応える未来志向の街づくり



▲ 建築が進む「第4街区」の建物(11月)。今はクレーンはなくなっている

枚方市駅周辺の再開発事業が進んでいます。再開発においては、地権者や企業、その他多くの住民と話し合いの機会を持つことが求められます。市は、7月から8月にかけて、「第5街区」等の進め方について市民向けに説明会を実施しました。

市長との懇談会

枚二は、7月の評議員会、9月は16日に市長懇談会の席でそれぞれ話し合いが持たれました。

駅の東側にあたる「第4街区」は建物の高さが29階まで到達。今後は住宅も供給され、若い世代による人口増が期待できます。一方、駅の北



懇談の冒頭、あいさつする伏見市長

側は歴史街道があり、景観配慮の観点から、人口および店舗増に連れて駐車場が増える懸念について意見を交わしました。
今後は重要な取り組みとなる「第5街区」においても、市民や議会との合意形成を得て、「住んでよかった」「越えてきてよかった」と信頼に応える『まちづくり』を進めていくこととなります。

「枚二回遊」 1日8000歩のススメ

健康への近道

大学の研究グループは、週に1〜2日歩いただけでも「1日に8000歩」を達成すれば、健康増進の効果を期待できることを明らかにしました。さらに、たとえ3日以上続けても「効果には差がない」とも言っています。



岡本町の松井茂夫さん(75)は、長年自身の健康管理を兼ねて、通学見守りの活動を行っています。

松井さんは毎朝続ける、数千歩のウォーキングを目標にし、「孫の入学を機に付き添いを始めて、いつのまにか8年が過ぎました」と健康への効果を認めつつ、子どもと歩きます。枚二小校門近くまで見送ります。

歴史街道とラポールへの道、子ども見守りコースもある枚二の街。ぐるりと回って自分の人生を見つめ直すと、新たな発見があるかも知れません。

「新体力テスト」で、新たな自己発見を

10月7日(土)、文部科学省が所管し、これまでのテストを全面的に見直した「新体力テスト」が枚二小体育館で行われました。

体力・運動能力の調査は、国民の体位の変化、高齢化の進展等を踏まえ、自身の課題や今後の目標を立てることに役立ちます。

測定には「立ち幅跳び」「反復横跳び」「20メートルシャトルラン」などがあり、自分の体力を試みます。65歳以下の部に夫婦で訪れた朝日丘町の枝松直子さんは「めったに得ることのない体験でした。(来年も)また来ます」と笑みを浮かべていました。



笑顔で「上体起こし」

4年ぶり開催 笑顔あふれる 区民体育祭

令和5年10月29日 枚二小学校運動場

令和元年以来、コロナ禍で見送られてきた枚二校区コミュニティの区民体育祭が4年ぶりに開催されました。青空に各国旗がなびき、大人から

子どもまでの世代が競技に参加。応援の人たちも含めて笑顔あふれる1日となりました。今年の総合優勝は岡本町地区に輝きました。



小学生リレー



風船わり競走



両手に花



なかよくはこびましよう



〇×クイズ



大事にはこびましよう



10人縄跳び



棒倒し



年齢別混合リレー



紅白玉入れ



綱引き



岡山手



クラブ紹介



おやつ時間



借物競走



プレゼント競走



ラムネ飲み・パン取り



障害物競走

区民体育祭 得点表

地区	得点	総合順位
田宮	166	6
朝日丘	161	7
東田宮	185	3
川原町	172	4
大垣内	138	9
新町	47	10
岡本町	217	1
岡南町	172	4
岡山手	150	8
岡東町	195	2

各競技 優勝チーム

両手に花	岡本町
どしゃぶり	東田宮
10人縄跳び	岡東町
綱引き	田宮
年齢別リレー	岡本町
玉入れ	岡本町
チームワーク賞	朝日丘

小学生リレー	1 岡山手B	2 朝日丘A	3 田宮B
--------	--------	--------	-------

=参加者の声=

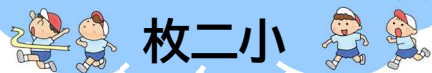
引っ越してきて初めて家族で参加しました。こんなに多くの町内があり、それぞれ特色があって驚きました。

=田宮本町在住の30代=
小学生2人、幼児、夫婦で参加

以前は子ども会の役員をしていました。久しぶりに開催でき、改めて地域のイベントの大切さを感じました。

=新町在住の40代=
中学生の子と参加

運動会こぼれ話



枚二小

「最協」の花を咲かせよう

10月22日(日)、ぽっかりと雲が浮かぶ青空の下、第67回枚二小運動会が挙行されました。PTA会長の白砂行浩さんから、演技の名称と6枚の写真が届きましたので紹介します。

5年生の「レッツ ソーラン GO!」は、「しっかり腰を落として、からだ全体で力強く寄せる」綱引きのようです。

4年生の「四上最協エイサー」とは何のこと?

「史上最強の当て字です。先生が考えました」と白砂さん。
なるほど なるほど…

いや、「当て字ではない」。『最協』とは、みんなで協力し合い、共に支え合いながら、強い信念をもって最高の運動会を作り上げようという意味です。先生方の熱意が伝わってきます!

6年生の「~100人の想い~」は、一人ひとりがつながり合い、絆で咲かせる明日の花。「いずれは僕らも」と見つめる下級生の後ろ姿が印象的です。

* *

開校以来、コロナ禍でも休むことのなかった枚二小の運動会。

たくさんの保護者や地域の方々の理解と協力があり、子どもたちの成長は続きます。(N)



5年生…レッツ ソーラン GO!!!!



6年生…結~100人の想い~



3年生…できっこないをやらなくちゃ! 3Shine☆☆☆



4年生…四上最協エイサー



1年生…ディズニーワールドin枚二



2年生…枚二ダンスホール

文化継承「一人ひとりが心豊かに」

こどもの国 枚二まつり41年

喜び、わかち合い、支え合い

11月25日(土)、2時限目までの枚二小オープンスクールのあと、こちらも4年ぶりとなる「枚二まつり」が関係方々の尽力のもと、盛大に幕を開けました。当日は天候にも恵まれ、校舎の内外は児童や保護者、先生方の笑顔で満ちあふれていました。

PTAが切磋琢磨

41年の長きに渡るイベントは、PTAが中心となって新年度入りには計画が生まれ、コミュニティの各種団体・委員等の協力を得て、まつりとなる文化が継承されていきます。

昔の遊びは実はすごい！

昔の遊びは画面に向かって座り続けるゲームとは違い、身体能力やコミュニケーション能力向上などに取り組むメリットがあります。

この遊びを学校でできるなんて、児童は喜びいっぱい。初めて体験する低学年の子らは、友だちと「次に行こう」などと一緒に回っていました。

学ぶ防災ガイド

体育館の入り口には防災コーナーが設けられ、非常時の心得など真剣に見入っていました。防災の加藤会長は「4年ぶりの枚二まつりで子どもたちの笑顔が見られ、この笑顔を守り続けていく防災会でありたい」と話していました。



「こどもの国」

◀「カづくり」



「昔遊び」



「大スマートボール」



「プラ板」



＝防災コーナー＝ 「食べるもの」と「逃げる場所」の展示



「〇×クイズ」

まちのわ題 ～輪と和と話～

軽ス。ポーツで

地域交流

「運動が苦手な人も自由に参加を」と呼びかけ、事前申し込みを省いた「枚二カーリンコン大会」が7月1日(土)と12月2日(土)、枚二小体育館で開催されました。

カーリンコンの輪



赤と緑の6枚のディスクを互いに投げ合い、どちらがポイントに近づいているかを競う簡単なスポーツ。幅広い年代での交流が可能です。

両日には高齢者など約30人が集まり、広い体育館に地域の「わ」ができました。

新町の前自治会長、平澤英正さん(89)は「健康である限り、また参加します」と元気に話していました。

枚二ふくし寄席 隣近所の和

昨年9月から始まった音曲や落語などによる「枚二ふくし寄席」。コロナ禍等の難局を校区一丸で乗り越えることにより、9月22日、ラポールひらかたにて無事一周年を迎えることができました。

はじめに、自治会連合会会長の安井一郎さん(87)があいさつしました。

安井さんと言えば地元・田宮の歴史を学び知る人。明和7年(1770年)の田宮村の人口は45人・12世帯だったと、生い立ちや変遷を語ります。

今や人口が膨れ上がった田宮地区は、ラポールまでは少し距離が遠い。そこで校区は「遠くの方は隣近所寄り合って、タクシーでお越しく下さい。旅費は払います。但し帰りは徒歩で、ここがミソです」などと、和をもつての来場を呼びかけます。



ようこそ！大先輩



世代間の話



二小でありました。(上下写真)

「割りばしにゴムをまく」なんて縁がない子は、感想を述べ合う終わりのセレモニーで拳手をして「難しいことがたくさんあったけれど、大先輩が教えてくれて楽しかったです」。他の児童からも拍手です。

96人の3年生が笛の演奏で27人の地域の人を迎え入れて、民生委員らが昔遊び「割りばし鉄砲」などの作り方を教えてお話しする会が枚

編集後記

4年ぶりにそろった「ふとん太鼓巡行」「区民体育祭」「枚二まつり」の3大イベントに、『礎』の紙面はにぎわった◆一

方で、地域の行事は変化あり。ふとん太鼓の4町がそろい踏む途中の公園は、場所を変え、練り歩く距離を短くして負担を軽減◆子どもの運動会の現状は、昔懐かしい姿が減ることに、少し寂しい気持。「綱」や「棒」、

「かご」はどこへ。区民体育祭で継がれている◆これらは形ではない、古き良き、さまざまな思いと歴史が詰まっている。伝統を理解しつつ、新しいものを取り入れていくことで、地域の発展は持続可能。